

作業名	鳴沢菜の収穫	作業期間	6月上旬から7月中旬
圃場位置	鳴沢村	作業環境	トイレ：なし 休憩場所：圃場
利用者の声	○室外作業は嫌いではないので、1日を通しての作業でも頑張ることができる。		
農業者の声	○遅れていた作業であったが、十分な戦力となり助かった。8月にビオラの作業もあるのでその作業を請け負ってもらいたい。		
作業・支援内容			
①		○鳴沢菜を抜き、株の部分を包丁で切り落とす。包丁を使うので必ず軍手等の手袋の着用は必要である。 ○包丁は使用してくると切れにくくなり、力を入れて切る場合があるので、支援者は切る方向や力の入れ具合に注意して見守りや支援する必要がある。	
②		○株を切った後、土がついている部分や茎の長さ等の切り口を整える。 ○きり方を説明した後、指示どおりの作業が実施されているか見守りながら課題点を伝え、できるだけマンツーマンで対応した。	
③		○黄色い葉を中心に茎の根元から落とし、出荷調整をする。 ○茎がしっかりしている場合は、葉だけを落とし茎を残すように指導した。	
④		○葉を整えた鳴沢菜をコンテナに入れる。コンテナがいっぱいになったら、結束場所まで運ぶ。 ○コンテナがいっぱいになったら支援者に伝えるよう指導した。コンテナの運搬は支援者が行った。	